

出席・自由

レポート・倉本美穂子 作成・かやみちこ

えがお
えがお
笑顔の
大安売りで
過ごした母の日

藤本フミエ
（同次点）

素晴らしい母の日を迎えられて微笑ましい歌です。一、二、三行、ひらがな、ひらがな、漢字となつていっぱい笑顔があつたんですね。娘にいろいろな所に連れて行ってもらい、徐々に母の日を楽しみました。とってもいい母の日でした。

プロゼクトX
のように
終わり良ければ
試練の道も
ほくほく顔なのに

荒田 豊

初めての
携帯メールに
生の声の方がいいな
と思つたが
やはり便利だね

住吉 邦子

「ハッ」とする
美人より
「ほっ」とする
癒し系に
なりたいたい

野 菊
（二席）

美人に越したことはないけど、長い付き合いでは癒される方がいいですね。「ハッ」も「ほっ」もないが、いつかなれたらと願望で採りました。
「ハッ」とも、「ほっ」ともなれないので、なれたらいいな〜と思つて詠みました。

償いの
日々を見守り
生きていく
でも必ずすべて
散骨してね

ともこ

よつこらしよ
掛け声掛けて
腰掛ける
駆ける意欲に
欠けるこの頃

山田 正巳

歌ひとつ
詠みたくなつた
びくんって
胸に
響いたよ

あまあまみかん

慌しかった
引越してから

丸矢 信子

二度目のフェスティバル
一年の速さを
しみじみ思う

一度くらい

かや みちこ

できたらいいな

(同一席)

あなたの

ころを

二つの解釈ができる歌。相手の心の中の真実を見てみたい。それとも平仮名、言葉使いから恋の歌かとも思った。五行目でメメントと落ちていきますね。恋の歌です。とくつとくつとくつおきます。

まっぷたつ

カーネーション

原 ヤス子

年に一度の

主役の日

きれいに咲いたよ

感謝をこめて

青田に

倉本美穂子

そよぐ風は

お百姓さんのため

「泥落としに行きましょうで
の かけ声も運ぶ

人生のしわを

ころ

刻んだ

(四席)

きんちゃん口で

「かこの鳥」を

口ずさむ

パソコンぐらい

いくたあつむ

しやんとやらにやー

(同次点)

うるさい娘には

手書き 癖字の

ぬくもりがわからない

がんばっている

榮 子

君が一番だよ

(三席)

遠回りだって

たくさん

いいことあるんだよ

切ない歌、とっても惹かれました。ディサービスを覗くといつも歌が聴こえてくるんですよ。人生の深さを感じ、母を思い出しました。病院の看護の日の「T」スタートでお年寄りの表情を見て。籠の鳥が一番人気でした。

パソコンを使いこなせない所為もあるが、やはり手書きが好きです。時代の流れを物語っている歌だと思いました。自筆をけなす娘に、「こいつ手書きの良さが分かっていないとガッカリ。」

人生の応援歌、自分自身にと受け取らせて頂きました。相手の立場に立って活かしてあげているいい言葉ですね。自分の孫も頑張っているので共感です。

勉強は出来ないが、一生懸命頑張っている孫へのメッセージです。

たわわに 桜白く
しだれ咲く
廃屋を背に
花びら一ひら二ひら・・・
栄華偲ぶ

よ志

祝言間近なのか
お嬢の会話
雨におおわれた
車中に
華やぐ

ゆうゆう
(五席)

げんかつぎ
五角形の鉛筆と
丸鉛筆で勝ちとった
桜 咲いたで
おめでとう

福原 祥子

昔のメモ日記
読み返して
みれば
わが子の
ことばかり

懸川千恵子

大輪の輝き
可憐な小さな花
それぞれに
命ありて
自在に生きる

江中 共治

わたしの背中に
羽はない
だから歩く
迷いながらも
へたりながらも

岡部亜矢子
(同一席)

2
1
島時間
桜がほほえむ
わらびが手まねく
ほっ深呼吸
心もほっ

山根 房子

「JRの雰囲気かな？祝言間近・・・いい言葉ですね。四行目、車中にの」に「スボットが当たったよ」うな感じていいですね。

大雨の日のバスの中で、実際に聞いた会話です。すべての音が雨に覆われた中、その母娘の会話が、ひととき車中に華やいと響いていました。

一歩一歩の現実がよく表れている歌ですね。言葉が羽根かとも思いました。五点入れたいくらいです。人生って楽じゃないうことですね。へたりながらも頑張つて歩くしかない、頑張ろっ！！

歩き続けることすらくじけそうになるので、敢えてこの歌を通して宣言しました。

歌のみ・自由

いさぎよく
散った桜に
バトンを貰い
私の番ね と
さつき 爛漫

山本 和恵
(二席)

“散る桜”という哀しい主題を「さつき」を通して転換させた五月の青々とした爽やかな情景。すごいなあと。花の移り変わりをまるで目の前で見ているようです。

暑いひざしの中で
今年は
三十歳のFF
皆んなで
笑顔をつないだね

空田 和子

久しぶりに子どもと出かけ、はしゃいだ一日でした。広島イベントを明るく楽しく歌っていていいなあと思いました。きっと楽しかったでしょうね。

さわやかに
誘う
風に乗る
歩数増しゆく
三本脚あしの歩み

森廣 房子
(三席)

一〜三行がいいですねえ、ご自分の辛い立場を明るく歌い上げた気持ち嬉しい。気持ちのいい五月なのに杖の生活とは。少しでも多く進めますよう、リハビリ頑張ってくださいね。

ビール値上げ
ガソリン値上げ
消費税値上げも
もう間近？
気分だけが値下げ

柴 まさこ
(同次点)

このような社会風刺、あってもいいねえ。気分は下がりはばなし、年金生活にはこたえます。懐が寒くなってきたら、こういった歌で笑いとばしますか？

マスクの
五歳の息子と
マスクの
ママが
チュツとして笑う

小原さなえ

親子のコミュニケーションがとれていいなあ。五行目がいい。可愛くって好き息子の小さい頃を思い出して、お乳がはってききました。

夫婦とは？
夫「クツの中の石ころの如し」
妻「ぬるい風呂に入ってる如し」
夫「何時出そうか何時出そうか」
妻「何時出ようか何時出ようか」

安田 露子

「靴の中の石ころ」に思わずフツツと。字数が多いけど面白い。これは五行歌としては取り上げにくい作品。人の言葉そのものではなく、自分の言葉で。ユニークで面白いので何とか熟成して欲しいです。コーラスの先生のお話をそのまま。笑いました。夫婦って譲り合いと我慢なんですね。

ひと鍬打つと
冬眠中の
殿様蛙
アツ 撃滅の危機
じつと凝視みる孫

若井もとむ

お孫さんの優しさがとてもよく出ていますね。その場の様子とその瞬間が手に取るようにわかります。「しまった」という作者の思いがうまく出ています。孫に教えられ、二人でじつと見つめました。

人を見る時
服装で判断しては
いけないと
母からの
伝言

野田 真弓

まったくこのとおりで人は見かけではないです
ね。人の心は思わぬときにわかることがあ
ります。
親から言われた言葉を思い出したという方が
多かったですよ。

古典とは
古いからではない
今日に
生きている
モーツァルト

藤本 春雄
(同次点)

今年はモーツァルト生誕二百年とか。良いも
のはいつまでも生き続けるのだと感心しまし
た。古典も昔は新曲だったのですよね。毎朝聴
いて、心地よい一日の出発にしています。

掃除は丸く
お花も活けた
クッキーも焼けた
さあ ティータイム
小さな幸せ

道原紀代子
(五席)

可愛くて、作者の性格がわかるようで、楽し
くて、好きです！「丸く」が幸せタイムを作
り出すためのキーワードですね。時には手抜き
もOK。毎日を楽しく小さな幸せに感謝です。

まぶしい新緑
ふとんも干した
シーツも干した
心もスツキリ
五月晴れ

和泉 圭

五月の天気の良い日の気分爽快さ、同感です。
リズム感良く、ことさら深い思いは無いとして
も、一段と爽やかさを感じる明るい歌ですね。

風情と思うか
ごみと思うか
散りゆく花びら
近所に迷惑？
気にはなりつつ

杏の花見
(四席)

まったくこの通りです。自分は風情に浸って
も、人はどうとるかですよね。花の終りの気持
ちになったら、やはり風情かなあ。樋に詰ま
るので、心配しています。

受験にペリペリして
ごめんね
一番
苦しいのは
あなたなのに

森 鈴

苦しい受験、どうしても通り抜けなければい
けないハードル、親の愛情を上手く歌っておら
れます。こんな時代もありました。今は孫を遠
くから眺め心の中でつぶやいています。

君の未来
扉がひらく
今の素直さで
温かさで
まっすぐ進め

やえこ

不器用でもいい真つ直ぐ進め、とすべての若
者にいいたい。老いにまっしぐらの私にも言っ
てもらいたいなあ。人への褒め言葉はこのよ
うに使うべきだと思わされたお歌です。

清月

花が散って
小鳥の姿も消えて
寂しいな
あれ ツバメが
帰って来たよ

三行目までの淋しさを四、五行目で癒されたような、頭を上げて空を見上げる感じが伝わってきます。月日が流れるとまた違った喜びもありますよ。

中塚 育子

風よ吹け
若武者は
こいのぼりに乗って
この大地を
かけ巡る

とっても勢いがあっていいですね。スケールがでっかい！五月の空に勢いよく泳ぐ鯉のぼり。若者への応援歌ですね。うちの五月人形の一つは鯉を持っていますよ。孫の端午の節句を祝いました。

小泉 秀子

さらさらさら
字で奏でてみよう
ピアノの黒と
同じ艶の
万年筆をもらった

とても惹かれた歌。大切な万年筆はどんな演奏でもするのでしょね。入学祝にもらった万年筆を思い出します。「ピアノの黒と同じ艶」とつても素敵な表現ですね。私には過ぎた万年筆をもらって、嬉しい気持ち。

大上 博子

花を見て思います
花は、正直者です
水が欲しくなると萎れてしまい
水を与えてやると
天に向かって美しく咲いてくれます

気持ちがよく表面に出てしまふ、自分のことのように恥ずかしい。自然の生業の当たり前のこと、しみじみと心に伝わってきます。言いたいことが沢山あるのはわかるが、思い切って省略するということも必要です。二行分くらい削って熟成してみてください。

横田 純枝

待ちわびた
サザンカー輪八重咲きの
淡いピンクに心がどり
無我夢中の
筆あそび

思わず筆をとった気持ち、よく伝わります。待ちわびた花を絵にできるのって羨ましいわ。息をするのも忘れるほど夢中になっている様子や楽しさが伝わりますよ。珍しい山茶花がこの春はじめて咲きました。絵手紙風にして残しています。

島 小舟

希望の芽
いろいろの色に
染まる
哀しみの芽
ただ灰色

人生を色で表現するなんて。灰色でも育て方（接し方）しだいで染まるはず。ちょっとでも希望が見えますように。いい感じの艶歌になっていますね。
助詞をもう一つ二つ使って名詞止を少なくしてみてください。

田中カズエ

高齢令者の
思う事は
国^{わかもの}の行く末
若者 考えよ
未来はその手のひらに

なかなか考えてくれない若者を案じている作者。自分も若者といわれた時代あり。大丈夫じゃないの？ 四行目は不要かも？
強い教育的な言葉には反発も多かるう。むしろ応援歌に仕上げたらいかがでしょう。「未来は」「若者の手に」と分ける方法もありますよ。

2
2

リ・ホームした
キツチンに
花柄エプロン
気分も新たに
還暦を迎える私

富垣 豊子

2
3

頑なに
凍りついた
妻の心を
チンしたい
ごめんね

紫陽花
(一席)

素直でさわやかな歌に好感をもちました。住まいも気分も新たに言えば言うことなし。問題は花柄が還暦にお似合いかどうかですかね。失礼！

血がよく出ている冷凍食品にしてしまったのはどんな罪を犯したのか。背後から抱きしめてあげましょう。お手軽に温められても困る。「チン」で更なる火花が出ることもあり、お気をつけあそばせ(女性陣より)
男が忘れてならない言葉は「ありがとう」「ごめん」だ。最後にとどめの「愛してる」で丸くおさまるとか。

2
4

二人揃って花夢の里
夫の好きな芝桜
その余りの見事さに
歓声あげたありし日の
懐かしくそして悲しく胸いたむ

上川トモエ

若い頃の二人の仲が偲ばれます。言いたいことを全部言ってしまうと、読み手が思いを重ねることもなく「あ、そう、ハイッ次ぎ！」ということになる。二行分くらい省略してみてください。
例えば 六十音を三十九音にする

在りし日

大好きな芝桜に

歓声をあげていた

夫が

今はただなつかしく

青い字は代表の感想です。気をつけながら作ってみましょう。